

令和 7 年度

「いわて復興未来塾」エクスカーショントラニ営等業務

業務仕様書

令和 7 年 5 月

岩手県復興防災部復興推進課

この「業務仕様書」（以下「仕様書」という。）は、岩手県が実施する「令和7年度「いわて復興未来塾」エクスカッション運営等業務」（以下「本業務」という。）に係る受託候補者の選定に関して、岩手県が、契約する事業者（以下「受託者」という。）に要求する本業務の概要や仕様を明らかにし、企画コンペに参加しようとする者（以下「参加者」という。）の提案に具体的な指針を示すものである。

1 本業務の目的

「いわて復興未来塾」は、復興を担う多様な主体が相互に交流、連携し、幅広く教え合い、学び合うことで復興の更なる推進を図ることを目的に、平成27年度から開催している。

震災から14年が経過し、震災の風化や関心の低下が懸念されている中、震災の事実と教訓を確実に次世代に伝承するために、若い世代の参加の一層の促進が必要であり、復興を担う方々等による基調講演や事例報告等を行う「フォーラム」と連動し、岩手県沿岸地域の復興状況を体験等を通じて学ぶ「エクスカッション」（本業務）を実施することで、復興の実感を伴う、質の高い学びの機会の創出を図る。

2 本業務の概要

（1） 業務の名称

令和7年度「いわて復興未来塾」エクスカッション運営等業務

（2） 主催

いわて未来づくり機構（事務局：岩手県復興防災部復興推進課）

（3） 業務内容

下記ア～ウの業務及び各業務に係る連絡調整等を実施すること。

ア 「いわて復興未来塾」エクスカッションの企画・運営

岩手県沿岸地域の復興状況や震災津波からの教訓等を体験等を通じて学ぶ日帰りエクスカッションを2回（第1回：9/13（土）、15（月・祝）又は23（火・祝））のいずれかの日（終日）、第2回：11/22（土）（午前）実施すること。

なお、第2回（11/22（土））は、午後に岩手県がフォーラムを実施し、エクスカッション参加者は同フォーラムにも参加するものと想定している。

エクスカッションは第1回・第2回ともに（5）アに記載するフォーラムのテーマと連動する内容で実施すること。

イ 「いわて復興未来塾」エクスカッションに係る動画撮影・映像制作・納品

アで実施する第1回エクスカッションの模様を撮影の上、映像を制作し、納品すること。納品された映像は、岩手県がYouTube（岩手県公式動画チャンネル）で公開する。

ウ 「いわて復興未来塾」フォーラム及びエクスカッションの参加申込受付

参加申込用WEBフォームを作成し、公開するとともに、参加申込者との連絡調整等を行うこと。

(4) 業務分担

本業務の実施に当たり、受託者と岩手県は、下記のとおり分担し、必要に応じて連携調整することとする。

業務		実施主体	
		受託者	岩手県
エクスカーション の企画・運営	行程策定	○	
	訪問先手配・連絡調整	○	
	バス手配・連絡調整	○	
	当日の参加者対応	○	△ (※1)
	当日資料準備・配付	○	△ (※2)
エクスカーション に係る動画撮影・ 映像制作・納品	映像の企画	○	
	撮影先との連絡調整・動画撮影	○	
	映像制作	○	
	納品	○	
	公開		○
フォーラムの企 画・運営	企画・講師手配		○
	運営		○
	会場手配・連絡調整		○
フォーラム及びエ クスカーションの 広報・周知	チラシ等作成 (第1回・第2回共通)		○
	周知(参加者募集：7月下旬開始 予定)		○ (※3)
フォーラム及びエ クスカーションの 参加申込受付	申込WEBフォーム作成・二次元バ ーコード発行	○	
	参加者連絡調整 (第1回及び第2回参加者のう ち、エクスカーションのみ又はエ クスカーションとフォーラム両方 の参加者)	○	
	参加者連絡調整 (第2回のフォーラムのみの参加 者)		○

※1 岩手県職員の同行を予定しており、当該職員が参加者対応を補助することは可能であること

※2 第2回のフォーラムに係る資料は岩手県が作成する

※3 過去の「いわて復興未来塾」参加者へのメール・郵送、県ホームページ、県関係機関のSNS等での周知を予定

(5) 業務の仕様等

区分	主な業務内容等																				
必須 提案	ア 「いわて復興未来塾」エクスカージョンの企画・運営 ＜全般事項（第1回・第2回共通）＞ 岩手県沿岸地域の復興状況や震災津波からの教訓等を体験等を通じて学ぶ日帰りエクスカージョンを2回（下記表を参照）実施すること。各回の訪問先と行程を提案すること。																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>時期</th><th>時間</th><th>形 式</th><th>概要</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td><td>9/13(土)、15(月・祝)又は23(火・祝)</td><td>終日</td><td>エクスカージョン</td><td>・久慈地区（洋野町を除く）、宮古地区（田野畑村及び山田町を除く）又は気仙地区で、2地区又は同一地区内の2箇所程度 ・実施の模様等を撮影の上、映像制作・納品</td></tr> <tr> <td rowspan="2">第2回</td><td rowspan="2">11/22(土)</td><td>午前</td><td>エクスカージョン</td><td>・釜石地区（釜石市又は大槌町）内の1箇所程度</td></tr> <tr> <td>午後</td><td>フォーラム</td><td>期日：令和7年11月22日（土） 13:30～15:30（開場 13:00） 会場：大槌町文化交流センター おしゃっち（大槌町末広町 1-15）</td></tr> </tbody> </table> ※赤枠：本業務 - 下記のフォーラムテーマと連動するような体験ができ、かつ若い世代の参加促進が期待できる魅力あるエクスカージョンを提案すること。 【フォーラムテーマ】 震災津波から15年～三陸ジオパーク・みちのく潮風トレイルと震災伝承～ - 三陸地域の有数の地域資源として近年注目を集めている三陸ジオパーク及びみちのく潮風トレイルでは、テーマに震災津波の記憶の伝承を掲げ、震災津波の記憶が薄い若い世代や県内外・海外からの来訪者に、三陸地域の魅力とともに、震災津波から得た教訓を発信している。 - このことから、今回の未来塾では、三陸ジオパーク及びみちのく潮風トレイルを活用した伝承・発信の取組事例の報告等を通し、地域資源を活用した県内外・海外への震災伝承の在り方について考える機会とする。 - 雨天時等、屋外での実施が困難な場合の代替案も提案すること。なお、第1回については、上記候補日（9/13, 15 又は 23）の中で、別日に延期して実施することも妨げない。ただし、延期に要する費用は委託料に見込むこと。 - 訪問先の提案にあたっては、別紙の令和元年度～令和6年度のいわて復興未来塾等のチラシに記載している過去の訪問先も参考とすること。 - 参加料金は無料とし、訪問先での体験料等が必要な場合は委託料に見込むこと。ただし、昼食等の飲食代金は参加者負担とすること。昼食代が参加の妨げにならないよう、必要に応じて廉価なメニューの選択肢も用意する等、留意すること。 - 募集人数は各回60名程度（盛岡市等からの参加者：40名程度、沿岸現地集合での参加者：20名程度を想定）とする。 ＜全般事項（第1回）＞ - 訪問先は2箇所程度とする。 - 訪問先のうち1箇所は、ウェブサイト「いわて震災伝承施設・団体ガイド IWATE TSUTAERU～語り継ぐ 未来のために～」に掲載されている震災伝承施設・団体から選定すること。					時期	時間	形 式	概要	第1回	9/13(土)、15(月・祝)又は23(火・祝)	終日	エクスカージョン	・久慈地区（洋野町を除く）、宮古地区（田野畑村及び山田町を除く）又は気仙地区で、2地区又は同一地区内の2箇所程度 ・実施の模様等を撮影の上、映像制作・納品	第2回	11/22(土)	午前	エクスカージョン	・釜石地区（釜石市又は大槌町）内の1箇所程度	午後	フォーラム
	時期	時間	形 式	概要																	
第1回	9/13(土)、15(月・祝)又は23(火・祝)	終日	エクスカージョン	・久慈地区（洋野町を除く）、宮古地区（田野畑村及び山田町を除く）又は気仙地区で、2地区又は同一地区内の2箇所程度 ・実施の模様等を撮影の上、映像制作・納品																	
第2回	11/22(土)	午前	エクスカージョン	・釜石地区（釜石市又は大槌町）内の1箇所程度																	
		午後	フォーラム	期日：令和7年11月22日（土） 13:30～15:30（開場 13:00） 会場：大槌町文化交流センター おしゃっち（大槌町末広町 1-15）																	

区分	主な業務内容等																								
必須 提案	※参考（URL） https://www5.pref.iwate.jp/~hp0132/index.html - 訪問先のうち1箇所は、みちのく潮風トレイルや三陸ジオパークを体験しながら震災津波からの教訓を学ぶガイド付きツアーとすること。 ＜全般事項（第2回）＞ - 訪問先は1箇所程度とする。 - 午後には岩手県がフォーラムを実施予定であり、エクスカーショ参加者の同フォーラムへの参加を想定している。ただし、交通手段は参加者が準備する前提で、午前エクスカーショのみ、午後のフォーラムのみの参加も認める。 - みちのく潮風トレイルや三陸ジオパークを体験しながら震災津波からの教訓を学ぶガイド付きツアーとすること。ただし、午後のフォーラム参加を考慮し、まち歩きや施設訪問等、軽装での参加が可能な内容とすること。 （ア）行程策定 2（3）ア表中の各回時期・訪問地域をもとに、行程を策定すること。 - 第2回は、同日開催のフォーラムに余裕を持って参加できるよう行程を組むこと（フォーラムの受付開始は30分前（13時）からを想定）。 ＜参考＞日程イメージ（想定であり下記のとおり指定するものではない） ※適宜休憩時間を設けること。 【第1回（9月13日（土）、15日（月・祝）又は23日（火・祝））】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>行程</th><th>移動時間・プログラム 実施時間</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>盛岡市内発（盛岡駅及び岩手県庁）・移動</td><td>08：00～10：30</td></tr> <tr> <td>訪問先1箇所目（震災伝承施設・団体）</td><td>10：30～12：00</td></tr> <tr> <td>移動・昼食</td><td>12：00～14：00</td></tr> <tr> <td>訪問先2箇所目（トレイルやジオパークと震災伝承に係るガイドツアー）</td><td>14：00～15：30</td></tr> <tr> <td>移動・盛岡市内解散</td><td>15：30～18：00</td></tr> </tbody> </table> 【第2回（11月22日（土））】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>行程</th><th>移動時間・プログラム 実施時間</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>盛岡市内発（盛岡駅及び岩手県庁）・移動</td><td>07：30～10：00</td></tr> <tr> <td>訪問先（トレイルやジオパークと震災伝承に係るガイドツアー）</td><td>10：00～11：30</td></tr> <tr> <td>昼食・移動（フォーラム会場：大槌町文化交流センター おしゃっち）</td><td>11：30～13：00</td></tr> <tr> <td>フォーラム</td><td>13：30～15：30</td></tr> <tr> <td>移動・盛岡市内解散</td><td>15：30～18：00</td></tr> </tbody> </table> （イ）訪問先手配・連絡調整 - 訪問先（昼食会場を含む）の予約等手配やエクスカーショ実施に向けた連絡調整を行うこと。 - フォーラム会場（大槌町文化交流センター おしゃっち）の手配及び連絡調整は岩手県が行う。	行程	移動時間・プログラム 実施時間	盛岡市内発（盛岡駅及び岩手県庁）・移動	08：00～10：30	訪問先1箇所目（震災伝承施設・団体）	10：30～12：00	移動・昼食	12：00～14：00	訪問先2箇所目（トレイルやジオパークと震災伝承に係るガイドツアー）	14：00～15：30	移動・盛岡市内解散	15：30～18：00	行程	移動時間・プログラム 実施時間	盛岡市内発（盛岡駅及び岩手県庁）・移動	07：30～10：00	訪問先（トレイルやジオパークと震災伝承に係るガイドツアー）	10：00～11：30	昼食・移動（フォーラム会場：大槌町文化交流センター おしゃっち）	11：30～13：00	フォーラム	13：30～15：30	移動・盛岡市内解散	15：30～18：00
行程	移動時間・プログラム 実施時間																								
盛岡市内発（盛岡駅及び岩手県庁）・移動	08：00～10：30																								
訪問先1箇所目（震災伝承施設・団体）	10：30～12：00																								
移動・昼食	12：00～14：00																								
訪問先2箇所目（トレイルやジオパークと震災伝承に係るガイドツアー）	14：00～15：30																								
移動・盛岡市内解散	15：30～18：00																								
行程	移動時間・プログラム 実施時間																								
盛岡市内発（盛岡駅及び岩手県庁）・移動	07：30～10：00																								
訪問先（トレイルやジオパークと震災伝承に係るガイドツアー）	10：00～11：30																								
昼食・移動（フォーラム会場：大槌町文化交流センター おしゃっち）	11：30～13：00																								
フォーラム	13：30～15：30																								
移動・盛岡市内解散	15：30～18：00																								

区分	主な業務内容等
	(ウ) バス手配・連絡調整 - 盛岡市内（盛岡駅及び岩手県庁）と訪問先を往復する大型バス（正座席 45 名以上程度）を手配すること。 - 現地集合での参加者（20 名程度）が集合場所から各訪問先まで一括して移動する必要がある場合等は、別途バス等の移動手段を手配すること。 - 岩手県庁への構内駐車申請は岩手県が実施する。 (エ) 当日の参加者対応 - 当日の参加者（現地集合での参加者を含む）を受付し、受付名簿を岩手県に報告すること。第 2 回については、当日、フォーラム開始前に岩手県担当者に速やかに報告すること。 - 第 2 回では、参加者をフォーラム会場まで誘導し、フォーラム終了後はバスまで誘導の上、盛岡市内へ送迎すること。 - 事前の連絡調整を下記ウ（イ）のとおり対応すること。 (オ) 当日資料の準備・配付 - 行程をまとめた資料（A 4 紙 1 枚程度）を作成し、当日、参加者に配付すること。 - 訪問先の施設・団体等のパンフレット等必要な資料を、訪問先と調整の上事前に用意し、当日、参加者に配付すること。 - 第 2 回では、岩手県が作成し、受託者に引き渡すフォーラム資料も併せて配付すること（フォーラムのみの参加者を除く）。 イ 「いわて復興未来塾」エクスカーションに係る動画撮影・映像制作・納品 当日の参加者以外にも震災への関心を高め、現地訪問の動機付けを図るため、エクスカーションの様子を撮影の上、映像を制作し、納品すること。 (ア) 映像の企画 映像の構成等について提案し、岩手県と調整すること。 (イ) 動画撮影先との連絡調整・動画撮影 - 動画撮影及び映像制作、YouTube（岩手県公式動画チャンネル）での公開について、撮影先（第 1 回の訪問先）と事前に連絡調整し、承諾を得ること。 - 第 1 回での震災伝承施設・団体等の訪問・体験の様子を撮影すること。施設の展示やガイド・語り部等の説明、参加者の感想等も取材・撮影すること。 (ウ) 映像制作 - イ（イ）で撮影した映像や震災伝承施設等訪問先の概要等の情報を盛り込んだ映像（10 分程度）を 10 月下旬を目途に制作すること。 - 岩手県と調整の上、映像制作に着手すること。 (エ) 納品 制作した映像を納品すること。納品された映像は、岩手県が YouTube（岩手県公式動画チャンネル）へアップロードする。 ウ 「いわて復興未来塾」フォーラム及びエクスカーションの参加申込受付 (ア) 申込WEBフォーム作成・二次元バーコード発行 - フォーラム・エクスカーション共通の参加申し込み用WEBフォームを作成すること。 - フォームには氏名、住所、連絡先（電話番号及びメールアドレス）、職業・所属・団体名、エクスカーション第 1 回及び第 2 回、フォーラムそれぞれの参加

区分	主な業務内容等
	希望、交通手段（バス利用又は現地集合）、希望するバス乗り場等の入力欄を設け、公開前に岩手県の確認を受けること。 ・ フォームにアクセスする二次元バーコードを発行し、岩手県に提供すること。二次元バーコードは岩手県が作成するチラシ等に掲載する。 ・ 参加申込をとりまとめ、申し込み状況を適宜岩手県に報告すること。 ・ メール・郵送等での参加申込も受け付けること。 ・ 参加申込に係る問い合わせに対応すること。 （イ）参加者との連絡調整 ・ 申し込みのあった参加者への事前の連絡調整（バス及び現地集合者の集合場所や時間、当日の持ち物、注意事項等に係る文書の郵送またはメール送付等）を行うこと。 ・ フォーラムのみへの参加者については岩手県が連絡調整を行うことから、連絡先等を岩手県に報告すること。
自由提案	若い世代の参加を促進するための方策を提案すること。なお、2（4）において岩手県が対応する業務（周知等）の一部を受託者が実施することとする提案も差し支えない。ただし、実施に係る費用は委託費に見込むこと。 （例）エクスカッションにおけるワークショップ等の実施、チラシ（データ）の制作、WEB 広告等による周知等
全般事項	業務全体に係るタイムスケジュール、エクスカッション計画（行程や訪問先リスト、体験内容等、当日の運営に係るマニュアル）、映像制作計画（構成、撮影を実施する訪問先、撮影日程等）を岩手県と調整の上策定すること。
提出物	・ エクスカッションの実施結果や制作した映像の内容等を盛り込んだ報告書（A4判、両面フルカラー、2部）を作成すること。 ・ 報告書の電子データ及び制作した映像（MP4ファイル）を、電子媒体により提出すること。

（５） 委託期間

委託契約締結日から令和7年12月19日（金）まで

（６） 委託予定額

本事業における委託予定額の上限額は、2,208 千円（税込）以内とする。

（７） 業務に係る共通事項

ア 実現可能な提案を提出すること。なお、実施に当たり、不確定要素や岩手県、関係機関等の協力要件がある場合は、企画提案書等の提出期限までに具体的かつ明確にその内容を示すこと。

イ 2（4）において受託者が実施することとしている連絡調整は岩手県と調整の上着手すること。7月下旬には参加者募集を開始する想定であることから、バスや訪問先等を企画提案時点で仮予約等をする 것도差し支えないが、キャンセル等に要する費用が発生する場合は企画提案者が負担すること。

ウ 受託者は、本業務の趣旨を理解し、かつ、業務遂行に必要な知識・能力・経験を有する要員を配置し、岩手県と十分協議しながら業務を進めること。なお、本業務に関わる責任者及び担当者については、契約締結後速やかに書面にて報告すること。

エ 本仕様書に定める事項等に疑義が生じた場合は、受託者と岩手県で協議し決定する。ただし、明示のない事項にあっても、社会通念上当然必要と考えられるものについて

は、本業務に含まれるものとする。

(8) 感染症対策

エクスカージョンの実施に当たっては、感染症の流行状況に応じて、必要な感染症対策を講じること。

3 企画提案書の構成

参加者は、下記の提案項目について必要な書類を作成し、提案することとする。

- (1) 上記2に定める業務の内容に係る企画等の提案
- (2) 本業務の実施に要する費用を明らかにした費用積算内訳書
費用積算内訳書については、積算した金額に当該金額の100分の10に相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額）をもって積算額とするので、参加者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、積算した金額の100分の110に相当する金額を費用積算内訳書に記載すること。
- (3) 会社の概要書（名称、所在地、代表者氏名、主な実績）
- (4) 事業全体の実施スケジュール、実施体制、感染症対応

4 企画提案書の書式等

- (1) 企画提案書は、A4版横書き左綴じとし、8部提出すること。
- (2) 提出する企画提案は参加者1者につき1提案とする。エクスカージョンの訪問先は各回の訪問先1案ずつに加え、雨天時等の代替案も提案すること。
- (3) 提案書提出後の書換え、引換え、撤回又は再提出は認めない。
- (4) 提案書等の作成・提出に係る費用は選定結果に関わらず提案者の負担とする。また、提出した企画提案書等は返却しない。

5 契約に関する条件

(1) 再委託等の制限

ア 受託者は、本業務の全部又は本業務の企画若しくは制作等のうち監理業務部分を一括して第三者に委託し、又は請け負わせてはならない。

イ 受託者は、本業務の一部を第三者に委託することができるが、その際は事前に、再委託の内容、再委託先（商号又は名称）、その他再委託先に対する管理方法等、必要事項を岩手県に対して文書で報告しなければならない。

(2) 再委託の相手方

受託者は、上記5(1)イにより本業務の一部を第三者に委託する場合は、その相手方を、岩手県内に主たる営業所を有する者の中から選定するように努めなければならない。

(3) 業務履行に係る関係人に関する措置要求

ア 岩手県は、本業務の履行につき著しく不適当と認められる場合は、受託者に対して、その理由を明示した文書により、必要な措置をとるべきことを請求することができるものとする。

イ 岩手県は、上記5(1)イにより受託者から委託を受けた者で本業務の履行につき著しく不適当と認められる場合は、受託者に対して、その理由を明示した文書により、必要な措置をとるべきことを請求することができるものとする。

ウ 受託者は、上記 5（3）ア、イによる請求があったときは、当該請求に係る事項について必要な措置を講じ、その結果を、請求を受けた日から 10 日以内に、岩手県に対して文書により通知しなければならない。

（４） 機密の保持

受託者は、本業務を通じて知り得た情報を機密情報として扱い、目的外の利用、第三者に開示、漏えいしてはならない。契約終了後もまた同様とする。

（５） 個人情報の保護

受託者は、本業務を履行する上で個人情報を取り扱う場合は、個人情報の保護に関する法律（平成 15 年法律第 57 号）及び個人情報の保護等に関する条例（令和 4 年岩手県条例第 49 号）を遵守しなければならない。

（６） 権利の帰属等

本業務の実施により制作された成果物及び資料又はその利用に関する著作権、所有権等に関しては、原則として委託料の支払いの完了をもって受託者から県に移転することとするが、その詳細については、岩手県及び受託者間で協議の上、別途契約書により定めるものとする。

ただし、権利の移転前であっても、岩手県が必要な範囲において成果物を利用できるものとする。

三陸防災復興シンポジウム2019

なりわいの再生と新たな三陸の創造
～三陸の豊かさを生かした持続可能な産業を考える～



参加無料

どなたでも
参加できます!

シンポジウム

2019年 6月28日 金

13:30～16:00(予定)

久慈市文化会館 1階 小ホール

エキスカージン

2019年 6月29日 土

9:30～14:30(予定)

無料バス運行(定員30名)

13:30～13:35

開会・主催者挨拶

13:35～13:40

久慈市長挨拶

13:40～14:40

基調講演

産業分野におけるリスクマネジメント

一橋大学名誉教授 関 満博 氏

<略歴>

1948年富山県小矢部市生まれ。
専門は地域産業論。



1971年成城大学経済学部卒業。1976年成城大学大学院経済学研究科博士課程単位取得。専修大学商学部助教授、一橋大学商学部教授などを経て、2011年より現職。

これまで岩手県東日本大震災津波からの復興に係る専門委員、北上市産業振興アドバイザーなども務める。

14:50～16:00

事例報告

株式会社ひろの屋代表取締役 下 芋 坪 之 典 氏

久慈地域エネルギー株式会社取締役 若 林 治 男 氏

16:00

閉会

9:30

久慈駅前発

10:00～11:15

久慈地下水族科学館
もぐらんぴあ

北いわて・学びのプログラム(語り部ガイド)

震災から立ち上がった施設の取組等の説明・館内見学

11:45～12:45

道の駅のだ

昼食休憩

※昼食は参加者負担となります。施設内のレストランをご利用いただくか。各自でご準備願います。

13:00～14:00

涼海の丘ワイナリー

震災後に起業したワイナリーの工場見学

14:30

久慈駅前着・解散

17:00

盛岡駅西口着・解散

<会場案内：久慈市文化会館>

〒028-0051 岩手県久慈市川崎町17番1号

※会場情報や会場周辺の地図はこちらから



※駐車場には限りがございますので、無料シャトルバスや公共交通機関の利用にご協力をお願いします。

事務局：岩手県復興局復興推進課

問合せ先： TEL:019-629-6945 FAX:019-629-6944 E-mail:AJ0001@pref.iwate.jp

盛岡 ⇄ 久慈 往復無料バスの御案内（定員50人）

6月28日(金)のシンポジウム当日は、盛岡・久慈間で往復バスを運行します。

座席数に限りがありますので、申込みはお早めをお願いします。

◆往路：盛岡駅西口バスターミナル発 10:00発 ➡ 久慈市文化会館（会場） 12:30着

◆復路：久慈市文化会館（会場） 16:30発 ➡ 盛岡駅西口バスターミナル 19:00着

問い合わせ先

事務局：岩手県復興局復興推進課

〒020-8570 盛岡市内丸10-1

TEL：019-629-6945

FAX：019-629-6944

E-mail：AJ0001@pref.iwate.jp

申込締切

6月14日(金)

申込方法

下記のいずれかの方法で申込みください。

E-mail で申込み

件名を「第2回三陸防災復興シンポジウム」として、下記の必要事項をご記入の上、申込みください。

- 氏名（ふりがな）
- 所属・団体名等
- 住所
- 電話番号
- バス利用の有無

E-mail

AJ0001@pref.iwate.jp

FAX又は郵送で申込み

下記の「参加申込書」に必要事項をご記入の上、申込みください。

※郵送の場合は締切日必着をお願いします。

FAX

019-629-6944

第2回 三陸防災復興シンポジウム 参加申込書

FAX： 019-629-6944

ふりがな 代表者氏名		ふりがな 同伴者氏名	
ふりがな 同伴者氏名		ふりがな 同伴者氏名	
代表者住所	〒		
電話番号		FAX番号	

<希望内容> 参加・利用を希望するものに○をつけてください。 ※参加無料

開催日	項目		希望
6月28日 (金)	シンポジウム	(久慈市文化会館 小ホール 13:30~16:00)	☐
	盛岡 ⇄ 久慈 無料バス	【往路】盛岡駅西口バスターミナル (10:00発) ⇒ 久慈市文化会館 (12:30着)	☐
		【復路】久慈市文化会館 (16:30発) ⇒ 盛岡駅西口バスターミナル (19:00着)	☐
6月29日 (土)	エクスカーション	(久慈駅 9:30発 ~ 久慈駅 14:30解散)	☐
	エクスカーション	(久慈駅 9:30発 ~ 盛岡駅 17:00解散)	☐

※ご記入いただいた個人情報は、個人情報保護法に基づき、他の用途には一切使用しません。

三陸防災復興シンポジウム2019

コミュニティを基盤とした防災力の向上
～つながりの力で災害から地域を守る～

参加無料

どなたでも
参加できます!

シンポジウム

2019年7月19日 金
13:30～16:00(予定)
大船渡市民体育館

エキスカージン

2019年7月20日 土
10:00～14:20(予定)
無料バス運行(定員30名)

13:30～13:35

開会・主催者挨拶

13:35～13:40

大船渡市長挨拶

13:40～14:40

基調講演

地域の防災力を高める

国土館大学 防災・救急救助総合研究所
教授 山崎 登氏

<略歴>



1954年長野県大町市生まれ。1976年にNHK入局し、NHK解説委員(自然災害・防災担当)を務めた後、2017年より現職。

これまでに阪神・淡路大震災、台湾地震、新潟県中越地震、東日本大震災、熊本地震、西日本豪雨災害などを取材。

2018年に防災功労者内閣総理大臣表彰受賞。

14:50～16:00

事例報告

災害伝承語り部

吉田 忠雄氏

岩泉町 危機管理監

佐々木 重光氏

16:00

閉会

9:50

大船渡温泉発

※ 希望者はバス乗車可能(裏面で申込)

10:00～10:45

大船渡市防災観光交流
センター(おおふなぽーと)

センター正面「多目的広場」集合

大船渡市の復興まちづくりの取組説明及び施設見学

11:00～11:45

赤崎地区公民館・漁村センター

震災当時の避難の様子や避難所運営について説明

12:00～12:50

キャッセン大船渡

昼食休憩

参加者負担となります。近隣の飲食店をご利用ください。

13:20～14:20

陸前高田市内 震災遺構など

陸前高田観光ガイド部会

語り部ガイドが同乗し、震災からの復興状況を説明

14:20

JR大船渡線「交通広場」着・解散

16:35

盛岡駅西口着・解散

<会場案内：大船渡市民体育館> 〒022-0003 大船渡市盛町中道下1-1

※会場情報や会場周辺の地図は、右のQRコードからご確認いただけます。

※駐車場には限りがございますので、無料シャトルバスや公共交通機関の利用にご協力をお願いします。



大船渡市民体育館
アクセス情報

事務局：岩手県復興局復興推進課

問合せ先： TEL:019-629-6945 FAX:019-629-6944 E-mail:AJ0001@pref.iwate.jp

盛岡 ⇄ 大船渡 往復無料バスの御案内（定員50人）

7月19日(金)のシンポジウム当日は、盛岡・大船渡間で往復バスを運行します。

座席数に限りがありますので、申込みはお早めをお願いします。

- ◆往路：盛岡駅西口バスターミナル発 10:30発 ➡ 大船渡市民体育館（会場） 12:45着
- ◆復路：大船渡市民体育館（会場） 16:30発 ➡ 盛岡駅西口バスターミナル 18:45着

問い合わせ先

事務局：岩手県復興局復興推進課

〒020-8570 盛岡市内丸10-1
TEL：019-629-6945
FAX：019-629-6944
E-mail：AJ0001@pref.iwate.jp

申込方法

下記のいずれかの方法で申込みください。

E-mail で申込み

件名を「第3回三陸防災復興シンポジウム」として、下記の必要事項をご記入の上、申込みください。

- 氏名（ふりがな）
- 所属・団体名等
- 住所
- 電話番号
- バス利用の有無

E-mail

AJ0001@pref.iwate.jp

FAX又は郵送で申込み

下記の「参加申込書」に必要事項をご記入の上、申込みください。

※郵送の場合は締切日必着をお願いします。

FAX

019-629-6944



第3回 三陸防災復興シンポジウム 参加申込書

FAX： 019-629-6944

ふりがな 代表者氏名		ふりがな 同伴者氏名	
ふりがな 同伴者氏名		ふりがな 同伴者氏名	
代表者住所	〒		
電話番号		FAX番号	

<希望内容> 参加・利用を希望するものに○をつけてください。 ※参加無料

開催日	項 目		希 望	
7/19 (金)	シンポジウム	(大船渡市民体育館 13:30~16:00)	☐	
	盛岡⇄大船渡 無料バス	【往路】盛岡駅西口バスターミナル(10:30発) ⇒ 大船渡市民体育館(12:45着)	☐	
		【復路】大船渡市民体育館(16:30発) ⇒ 盛岡駅西口バスターミナル(18:45着)	☐	
7/20 (土)	エクスカーション ※乗車場所・降車 場所それぞれに 「○」記入。	乗車 場所	大船渡温泉(9:50発)	☐
		乗車 場所	大船渡防災観光交流センター(10:00集合)	☐
		降車 場所	JR大船渡線「交通広場」(BRT陸前高田駅前)(14:20着)	☐
			盛岡駅西口バスターミナル(16:35着)	☐

令和2年度

沿岸報告会



第1回

いわて復興未来塾

東日本大震災津波の教訓と復興の姿
～10年目の沿岸被災地から～

令和2年8月23日 日

11:00～15:40

＜沿岸報告会プログラム＞

山田町：復興まちづくり状況視察

大槌町：事例報告

復興の現場(水門)視察

＜事例報告会会場：大槌町文化交流センターおしゃっち(定員50名)＞

〒028-1117 岩手県上閉伊郡大槌町末広町1番15号

TEL 0193-27-5181 / FAX 0193-27-5182

交通アクセス 三陸鉄道「大槌駅」より徒歩10分

会場に関する情報や会場周辺の地図はこちらから
ご覧いただけます。なお、駐車場には限りがあります
ので、公共交通機関をご利用ください。

<https://www.town.otsuchi.iwate.jp/gyosei/docs/374322.html>



大槌町

参加無料
盛岡発着シャトルバス
を運行(定員30名)
参加方法など詳細は裏面を
ご覧ください



大槌川・小槌川河口上空より

スケジュール

11:00～12:10

山田町
復興まちづくり状況視察

■コーディネーター 服部 真理氏
(やまだワンダフル体験ビューロー)

13:30～15:00

大槌町 事例報告

■司会 服部 真理氏(やまだワンダフル体験ビューロー)
■事例報告
・大槌高校復興研究会による防災絵本の発表(高校生による発表)
・オランダ島ハウスにおける山田町放課後児童クラブ・子育て
サロンの紹介(山田町職員による報告)
・大槌川水門・小槌川水門に関する発表
(沿岸広域振興局応援職員による報告)
■コメンテーター 神谷 未生氏(おらが大槌夢広場代表理事)

15:10～15:40

大槌町 復興の現場
大槌川水門・小槌川水門視察

■説明 沿岸広域振興局応援職員他

山田町

震災直後



震災直後に山田町役場からみた山田町市街地

現在



上の写真と同じ場所から見た現在の山田町市街地

主催：いわて未来づくり機構

お問合せ：岩手県復興局復興推進課 TEL:019-629-6945 FAX:019-629-6944 E-mail:AJ0001@pref.iwate.jp



はっとり まり
服部 真理氏 (やまだワンドフル体験ビューロー)
東京都出身。平成26年から山田町復興支援員に着任。山田町の体験型観光の窓口「やまだワンドフル体験ビューロー」を担当。新たな観光プログラムの開発や旅行会社への営業など、業務は多岐にわたる。復興まち歩きツアー等県内外へ山田町の魅力を発信している。



かみたに みお
神谷 未生氏 ((一社)おらが大槌夢広場 代表理事)
名古屋市出身。東日本大震災津波発災直後より大槌町で復興支援にあたる。2012年より、現在代表理事を務める「おらが大槌夢広場」に所属。復興ツーリズム事業の展開や高校生育成事業、今年4月よりおしゃっちを中心とした地域活性化にも挑戦中。



ささき みちほ
佐々木 美智穂 助産師
(山田町健康子ども課子育て世代包括支援センター)

一般社団法人オランダ島による復興支援により2014年に「オランダ島ハウス」が完成。現在、ここを拠点に放課後児童クラブや子育てサロンを実施している。



なかたに きょうすけ
中谷 恭右 技師 (静岡県派遣)
(沿岸広域振興局土木部復興まちづくり課)

静岡県からの応援派遣職員として沿岸広域振興局に勤務。大槌川水門・小槌川水門の水門土木工事の監督員として、工事設計書作成、現場管理、関係機関調整等を担当。



岩手県知事
達増 拓也

いわて復興未来塾とは

東日本大震災津波からの復興を力強く進めていくためには、復興を担う個人や団体など多様な主体が、復興について幅広く教え合い、学び合うとともに、相互に交流や連携をしながら、復興の推進に生かしていくことが求められます。

このため、岩手県内の産学官の連携組織「いわて未来づくり機構」では「未来づくり＝人づくり」との考え方のもと、「いわて復興未来塾」を開催しています。

新しい生活様式に配慮した実施について

- 参加者の皆様は、検温、マスクの着用、手指消毒等にご協力をお願いします。スタッフもマスク着用で業務にあたります。
- 事例報告会場では三密空間を避けるため、座席数を減らし一定の間隔を保ちます。また、扉を開けるなど換気に努めます。



盛岡発の往復シャトルバス(無料)のご案内(乗車定員30人)

当日は、盛岡から現地までの往復バスを運行します。座席数に限りがありますので、申込みはお早めをお願いします。

※乗車前の検温、手指消毒、マスク着用にご協力ください。
座席数を減らす等の感染防止を図り運行します。

【往路】盛岡駅西口8:15発→岩手県庁8:45発→陸中山田駅→おしゃっち→大槌川・小槌川水門
【復路】大槌川・小槌川水門15:40発→岩手県庁18:00着→盛岡駅西口18:15着

問い合わせ先

いわて未来づくり機構

(事務局：岩手県復興局復興推進課)
〒020-8570 盛岡市内丸10-1
TEL：019-629-6945/FAX：019-629-6944
E-mail：AJ0001@pref.iwate.jp

申込締切

8月7日(金)

申込方法

下記のいずれかの方法で申込みください。

E-mail で申込み

件名を「第1回いわて復興未来塾」として、下記の必要事項をご記入の上、申込みください。

- 氏名(ふりがな) ■職業・所属・団体名等
- 住所・電話番号・FAX ■メールアドレス
- 参加プログラム(下記申込書参照)
- バス利用の有無(乗車場所含む)

E-mail AJ0001@pref.iwate.jp

FAX又は郵送で申込み

下記の「参加申込書」に必要事項をご記入の上、申込みください。

※郵送の場合は締切日必着をお願いします。

FAX 019-629-6944

第1回 いわて復興未来塾 参加申込書

ふりがな
氏名

職業・所属
団体名等

〒
住所

Tel

Fax

Mail

シャトルバス利用の有無(どちらかに○をつけてください)

- ・利用する(乗車場所 盛岡駅西口・県庁)
- ・利用しない

定員に達した場合、ご遠慮いただく場合があります。

参加プログラム(参加するものに○をつけてください。複数選択可)

- ・山田町 復興まちづくり状況視察
- ・大槌町 事例報告
- ・大槌町 現場(水門)視察

※ご記入いただいた個人情報は、個人情報保護法に基づき、他の用途には一切使用しません。

令和3年度 第1回

沿岸報告会



いわて復興未来塾

～ 震災10年。なりわいの再生と挑戦 ～

併催：いわて三陸復興フォーラム



参加無料

盛岡発着シャトルバス

を運行（定員30名）
※参加方法など詳細は
裏面をご覧ください

写真提供：三陸国道事務所

宮古市の上空から撮影

宮古市

※ 定員に達し次第、募集終了

令和3年 7月4日 日
10:20～15:00

<沿岸報告会プログラム>

- 復興現場見学会 定員30名 ※上記バスに
乗車する方限定
- 事例報告会 定員50名 ※上記30名に
加え20名



写真提供：三陸国道事務所

復興現場見学会 ※バス参加者限定

10:20～11:40

三陸鉄道の震災学習列車
(鶴住居駅～宮古駅区間に乗車)

■解説 三陸鉄道(株) 山野目 真 旅客営業課長



※三陸鉄道の震災学習列車に関する情報は、こちらから
ご確認いただけます。

<https://www.sanrikutetsudou.com/?p=239>



インターネット生配信

ニコニコ生放送「いわて希望チャンネル」
でもご覧いただけます。

<https://ch.nicovideo.jp/iwate-kibou>



事例報告会 ※現地集合可

13:30～15:00

事例報告会
(宮古市地域創生センター4階多目的ホール)

- 司会 箱石 文彦氏 (みやこハーバーラジオ 放送担当室長)
- 事例報告 間瀬 慶蔵氏 (㈱尾半ホールディングス 専務取締役)
- 山根 千春氏 (浄土ヶ浜旅館 女将)
- 佐々木 勝利氏 (宮古市産業振興部水産課 課長)

宮古市地域創生センター <うみまちひろば>

〒027-0028

岩手県宮古市神林3番1号

TEL 0193-65-7133 / FAX 0193-65-7134

交通アクセス：三陸鉄道「宮古駅」から車で約10分

※会場の地図等は、下記URLまたはQRコードから
ご確認いただけます。

<https://sanriku-npo.org/sousei/>



※宮古市から盛岡市までの復路のバス車内で、宮古盛岡横断道路の
解説を行います。



主催：いわて未来づくり機構

お問合せ：岩手県復興防災部復興推進課 TEL:019-629-6945 FAX:019-629-6944 E-mail:AJ0001@pref.iwate.jp

事例発表者 1	 間瀬 慶蔵 氏 (株式会社尾半ホールディングス 専務取締役) 山田町出身。大学を卒業しイオン(株)に入社。30歳の時にUターン。 びはんは「山田の台所」として、復興の進捗とともに変化する様々な状況に対応しながら利便性の向上に取り組み、平成28年には「オール店」を新規出店。	 佐々木 かつし 勝利 氏 (宮古市産業振興部水産課 課長) 宮古市が新たな特産化を目指すトラウトサーモンの海面養殖などを担当。 東日本大震災からの復興に取り組む水産加工業を含めた水産業全体の活性化に繋がるものとして期待されている。 出荷2年目となる今年度、県内外への流通、ブランド化を一層進める。
事例発表者 2	 山根 千春 氏 (浄土ヶ浜旅館 女将) 宮古市出身。昭和35年に創業した浄土ヶ浜旅館の3代目女将。若女将として、震災の2年後に営業を再開させた。 観光振興イベントや陸中宮古青年会議所の活動を通じ、復興が進む宮古市にお客様が訪れてくれるよう尽力している。	 箱石 文彦 氏 (みやこハーバーラジオ 放送担当室長) 宮古市田老地区出身。平成27年からみやこハーバーラジオパーソナリティとして活躍している。 現在は、朝の生放送「おはよう潮風ラジオ」(月～金)、夕方の生放送「ラジオサンセット」(月～金)を週替わりで担当。



岩手県知事
達増 拓也

いわて復興未来塾とは

東日本大震災津波からの復興を力強く進めていくためには、復興を担う個人や団体など多様な主体が、復興について幅広く教え合い、学び合うとともに、相互に交流や連携をしながら、復興の推進に生かしていくことが求められます。
このため、岩手県内の産学官の連携組織「いわて未来づくり機構」では「未来づくり＝人づくり」との考え方のもと、「いわて復興未来塾」を開催しています。

新しい生活様式に配慮した実施について

- ・参加者の皆様は、検温、マスクの着用、手指消毒等の基本的な感染症対策の実施をお願いします。
- ・会場では三密空間を避けるため、座席数を減らし一定の間隔を保ちます。また、扉を開けるなど換気を行います。
- ・会場に来られない方でもインターネットでの視聴が可能です。



岩手県公式インターネット番組

ニコニコ生放送「いわて希望チャンネル」

<https://ch.nicovideo.jp/iwate-kibou>



盛岡発の無料往復シャトルバスのご案内(乗車定員30人)

- 当日は、盛岡から現地までの往復バスを運行します。
- 座席数に限りがありますので、申込みはお早めをお願いします。
- ※乗車前の検温、手指消毒、マスク着用にご協力ください。
座席数を減らす等の感染防止を図り運行します。

【往路】盛岡駅西口7:40発 ⇒ 県庁7:55発 ⇒ 鶴住居駅着

震災学習列車 鶴住居駅発10:20 ~ 宮古駅着11:40

⇒ (昼食休憩) ⇒ 宮古市地域創生センター(会場)着

【復路】会場15:10発 ⇒ 県庁17:30着 ⇒ 盛岡駅西口17:45着

問い合わせ先

いわて未来づくり機構

(事務局：岩手県復興防災部復興推進課)
〒020-8570 盛岡市内丸10-1
TEL：019-629-6945 / FAX：019-629-6944
E-mail：AJ0001@pref.iwate.jp

申込締切

令和3年6月18日(金)

申込方法

下記のいずれかの方法で申込みください。

E-mail で申込み

件名を「第1回いわて復興未来塾」として、下記の必要事項をご記入の上、申込みください。

- 氏名(ふりがな) ■職業・所属・団体名等
- 住所・電話番号・FAX ■メールアドレス
- 参加プログラム(下記申込書参照)
- バス利用の有無(乗車場所含む)

E-mail

AJ0001@pref.iwate.jp

FAX又は郵送で申込み

下記の「参加申込書」に必要事項をご記入の上、申込みください。

※郵送の場合は締切日必着をお願いします。

FAX

019-629-6944

第1回いわて復興未来塾 参加申込書

※定員に達し次第、参加をご遠慮いただくことがあります。
※無料シャトルバス利用者用の駐車場はご用意しておりません。乗車場所には公共交通機関を使用してお越しください。
※新型コロナウイルス感染状況を踏まえ、内容の変更や県境をまたぐ往來の自粛をお願いする場合があります。

ふりがな
氏 名

職業・所属
団体名等

〒
住 所

Tel

Fax

Mail

無料往復シャトルバスの利用及び震災学習列車の乗車を希望希望する方は、乗車場所を○で囲んでください。

(盛岡駅西口 ・ 県 庁)

※震災学習列車に乗車できるのは、バス利用者のみです。
※事例報告会のみ参加を希望する方は、記入を要しません。
(上記の必要事項のみ記入してください。)

※ご記入いただいた個人情報は、個人情報保護法に基づき「いわて復興未来塾(今後の開催予定の告知を含む)」以外の用途には一切使用しません。

令和3年度

第2回

いわて復興未来塾

震災10年 ～ふるさと岩手・三陸の創造～

復興支援10年
ありがとう

会場の様子は、岩手県公式インターネット番組で
生配信します。

ニコニコ生放送「いわて希望チャンネル」から
御覧ください！

<https://ch.nicovideo.jp/iwate-kibou>



定員**100名**
盛岡発着シャトルバス
を運行（定員**40名**）
詳細は裏面を
ご覧ください

陸前高田市役所 新庁舎からの眺め



プログラム

13:30～13:35 開会・知事挨拶

13:35～14:05 基調講演
「震災10年。
地元紙から見たこれからの復興」
鈴木 英里 氏
株式会社東海新報社 代表取締役



14:05～14:55 座談会
「中小企業の連携と復興の力。
あの日の気仙から未来の街づくりへ」

■パネリスト

河野 和義 氏

株式会社八木澤商店 取締役会長

田村 満 氏

株式会社高田自動車学校 取締役会長

■コーディネーター

菊田 哲 氏

岩手県中小企業家同友会

常任理事・事務局長

入場無料

令和3年**11月27日** 土

13:30～15:00

会場：陸前高田市民文化会館
奇跡の一本松ホール



〒029-2205 岩手県陸前高田市高田町字館の沖77
TEL 0192-22-9666 / FAX 0192-22-9667



河野 和義 氏
株式会社八木澤商店
取締役会長



田村 満 氏
株式会社高田自動車学校
取締役会長



菊田 哲 氏
岩手県中小企業家同友会
常任理事 事務局長

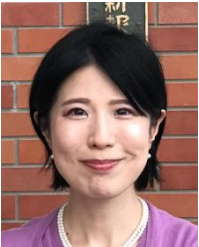
15:00

閉会

主催：いわて未来づくり機構

後援：陸前高田市

お問合せ：岩手県復興防災部復興推進課 TEL:019-629-6945 FAX:019-629-6944 E-mail:AJ0001@pref.iwate.jp

基調講演  すずき えり 鈴木 英里 氏 (株式会社東海新報社 代表取締役) 大船渡市出身。大学卒業後、東京の出版社に就職した後、地元に戻り、祖父が興した地元紙・東海新報社において記者を務める。令和2年、代表取締役に就任。日々、気仙地域の取材に赴きながら、東海新報のコラム「世迷言」を毎日執筆中。	パネリスト1  こうの かずよし 河野 和義 氏 (株式会社八木澤商店 取締役会長) 東日本大震災津波発災時、(株)八木澤商店代表取締役社長。平成23年4月、会長に。震災時は(株)高田自動車学校等と協力し、避難所への支援物資の配送等を実施。陸前高田の地域経済の発展、全国太鼓フェスティバルの開催等に長年に渡り尽力。
パネリスト2  たむら みつる 田村 満 氏 (株式会社高田自動車学校 取締役会長) (株)高田自動車学校などを営み、岩手県中小企業家同友会代表理事、気仙支部長などを歴任。陸前高田市発酵パークCAMOCYを運営する(株)醸の代表取締役社長で、気仙地域の中小企業のまとめ役として、地域を牽引し続ける。	コーディネーター  きくた さとる 菊田 哲 氏 (岩手県中小企業家同友会 常任理事 事務局長) 中小企業の経営者とともに学び育ち合う運動に関わり約30年。岩手同友会の事務局長として東日本大震災津波発災直後から全国の中小企業と被災地をつなぎ、同会は、様々な連携を生み出し広げる拠点となっている。

いわて復興未来塾とは



東日本大震災津波からの復興を力強く進めていくためには、復興を担う個人や団体など多様な主体が、復興について幅広く教え合い、学び合うとともに、相互に交流や連携をしながら、復興の推進に生かしていくことが求められます。

このため、岩手県内の産学官の連携組織「いわて未来づくり機構」では「未来づくり＝人づくり」との考え方のもと、「いわて復興未来塾」を開催しています。

バス利用者は、昼食時の自由時間に、東日本大震災津波伝承館（入場無料）を見学いただけます。



岩手県知事 達増 拓也

盛岡発の無料往復シャトルバスのご案内(乗車定員40人)

- 当日は、盛岡から現地までの往復バスを運行します。
- 座席数に限りがありますので、申込みはお早めをお願いします。
- ※乗車前の検温、手指消毒、マスク着用にご協力ください。
座席数を減らす等の感染防止を図り運行します。

【往路】盛岡駅西口9:10発 ⇒ 県庁9:25発 ⇒ (昼食休憩) ※東日本大震災津波伝承館 自由見学 ⇒ 陸前高田市民文化会館(会場)着

【復路】会場15:10発 ⇒ 陸前高田発酵パーク「CAMOCY」自由見学 ⇒ 盛岡駅西口17:40着 ⇒ 県庁17:55着 (予定)

問い合わせ先

いわて未来づくり機構

(事務局：岩手県復興防災部復興推進課)
〒020-8570 盛岡市内丸10-1
TEL：019-629-6945 / FAX：019-629-6944
E-mail：AJ0001@pref.iwate.jp

申込締切

令和3年11月16日(火)

申込方法

下記のいずれかの方法で申込みください。

E-mail で申込み

件名を「第2回いわて復興未来塾」として、下記の必要事項をご記入の上、申込みください。

- 氏名(ふりがな) ■職業・所属・団体名等
- 住所・電話番号・FAX ■メールアドレス
- バス利用の有無(乗車場所含む)

E-mail

AJ0001@pref.iwate.jp

FAX又は郵送で申込み

下記の「参加申込書」に必要事項をご記入の上、申込みください。

※郵送の場合は締切日必着をお願いします。

FAX

019-629-6944

第2回いわて復興未来塾 参加申込書

※定員に達し次第、参加をご遠慮いただくことがあります。
※無料シャトルバス利用者用の駐車場はご用意しておりません。乗車場所には公共交通機関を使用してお越しください。
※新型コロナウイルス感染状況等を踏まえ、内容の変更や県境をまたぐ往來の自粛をお願いする場合があります。

ふりがな
氏 名

職業・所属
団体名等

〒
住 所

Tel

Fax

Mail

無料往復シャトルバスの利用を希望する方は、乗車場所を○で囲んでください。

(盛岡駅西口 ・ 県 庁)

バス利用者は、帰路に陸前高田発酵パーク「CAMOCY」を見学いただけます。



※ご記入いただいた個人情報は、個人情報保護法に基づき「いわて復興未来塾(今後の開催予定の告知を含む)」及び「新型コロナウイルス感染予防のための連絡(会場等の求めに応じて提供する場合を含む)」以外の用途には一切使用しません。

令和4年度

第1回

いわて復興未来塾

～ 進化する伝承・発信と更なる交流に向けて ～



参加無料

盛岡発着シャトルバス
を各日運行（定員30名）
※詳細は裏面
をご覧ください

併催：いわて三陸復興フォーラム、「いわての復興を自治の進化に」第9回シンポジウム

#iiwateフォトコンテスト2019「復興のシンボル」

定員 50 名

令和4年 7月2日
14:00～17:00

会場：釜石情報交流センター

「チームスマイル・釜石PIT」多目的集会室

〒026-0024 釜石市大町一丁目1番地10号 TEL：0193-27-8751

会場の様子は、岩手県公式インターネット番組で生配信します。
ニコニコ生放送「いわて希望チャンネル」から御覧ください。

<https://ch.nicovideo.jp/iwate-kibou>



14:00～14:05 開会・知事挨拶

14:05～14:45 基調講演

「デジタル技術を通じた東日本大震災津波の伝承」

相原 優一 氏

株式会社IBC岩手放送 メディア戦略部 シニアマネージャー



（上段）

相原 優一 氏

（下段 左）

千田 一志 氏

（下段 右）

熊谷 正文 氏

14:45～15:15 事例報告

「後方支援拠点における防災力向上に向けた伝承発信の取組事例」

千田 一志 氏 遠野市消防本部 消防長

15:25～16:55 応援職員OB座談会

「東日本大震災津波を忘れない ～全国からの支援と交流の歩み～」

聞き手：熊谷 正文 氏 株式会社高田松原 代表取締役社長

応援職員OB：東京都 × 大阪府 × 長野県 × 名古屋市



16:55～17:00 総評・閉会

定員 50 名

令和4年 7月3日
10:00～12:00

10:00～12:00
復興現場見学会

「現地体験プログラム
（避難路追体験、水門・防潮堤見学）」

語り部：川崎 杏樹 氏 いのちをつなぐ未来館



※現地体験プログラムには、いのちをつなぐ未来館の
展示施設の解説も含まれます。プログラムの詳細は、
こちら。



会場：いのちをつなぐ未来館 周辺

〒026-0301
釜石市鶴住居町4丁目901番2号
TEL：0193-27-5666



主催：いわて未来づくり機構

お問合せ：岩手県復興防災部復興推進課 TEL:019-629-6945 FAX:019-629-6944 E-mail:AJ0001@pref.iwate.jp

基調講演
(7月2日)

「デジタル技術を通じた東日本大震災津波の伝承」
○ WEBを活用し、震災の教訓をわかりやすく次世代に伝える取組についての基調講演です。
あいはら ゆういち
相原 優一 氏 (株式会社IBC岩手放送 メディア戦略部 シニアマネージャー)
IBC岩手放送と岩手日報によるWEBコンテンツ「碑の記憶」「鵜住居～UNOSUMAI」を制作。VR (仮想現実) や3Dマップ等での拡張報道を活用し、県内中学・高校等で特別授業を行うなど、デジタル技術を通じた伝承・発信に尽力している。

座談会
(7月2日)

「東日本大震災津波を忘れない ～全国からの支援と交流の歩み～」
○ 聞き手と応援職員OBによる、交流の歩みの振り返りや更なる交流に向けてのトークセッションを行います。
くまがい まさふみ
聞き手：熊谷 正文 氏 (株式会社高田松原 代表取締役社長)
元陸前高田市復興局長。「三陸観光のゲートウェイ」としてオープンした「道の駅高田松原」で、三陸地域の情報発信やこれまでの全国各地からの応援への感謝発信に尽力している。

事例報告
(7月2日)

「後方支援拠点における防災力向上に向けた伝承発信の取組事例」
○ 沿岸被災地への後方支援の経験を通じた震災の伝承活動についての事例報告です。
ちだ ひとし
千田 一志 氏 (遠野市消防本部 消防長)
遠野市が運営する「3.11遠野市後方支援資料館」において、発災直後の映像等の豊富な記録資料を活用しながら、防災力向上に向けて、当時の遠野市の後方支援活動の様子や教訓の伝承活動に尽力している。

現場見学会
(7月3日)

「現地体験プログラム (避難路追体験、水門・防潮堤見学)」
○ 震災当日、釜石東中学校・鵜住居小学校の児童生徒が避難した避難路(1.6km)の追体験、水門の操作室や防潮堤の見学、いのちをつなぐ未来館の展示の解説などを行います。
かわさき あき
語り部：川崎 杏樹 氏 (いのちをつなぐ未来館)
釜石市出身。釜石東中学校2年生時に東日本大震災津波を経験。語り部として、人と地域の未来を守る防災教育の大切さを幅広い年齢層の方々に積極的に発信している。



岩手県知事
達増 拓也

いわて復興未来塾とは

東日本大震災津波からの復興を力強く進めていくためには、復興を担う個人や団体など多様な主体が、復興について幅広く教え合い、学び合うとともに、相互に交流や連携をしながら、復興の推進に生かしていくことが求められます。

このため、岩手県内の産学官の連携組織「いわて未来づくり機構」では「未来づくり＝人づくり」との考え方のもと、「いわて復興未来塾」を開催しています。

※座席数に限りがありますので、申込みはお早めをお願いします。

※無料シャトルバス利用者の駐車場はご用意しておりません。

※乗車前の検温、手指消毒、マスク着用にご協力ください。座席数を減らす等の感染防止を図り運行します。



盛岡発の無料往復シャトルバスのご案内(乗車定員:各日30人)

7月2日

【往路】盛岡駅西口10:00発⇒県庁10:15発⇒釜石PIT(会場)12:30着
※会場到着後、開会まで釜石市内で昼食休憩
【復路】会場17:10発⇒【途中停留】釜石駅17:15⇒盛岡駅西口19:15着⇒県庁19:30着(予定)

7月3日

【往路】盛岡駅西口 7:20発⇒県庁 7:35発⇒【途中停留】釜石駅 9:32⇒釜石PIT 9:40⇒いのちをつなぐ未来館(会場) 9:55着
【復路】会場12:10発⇒大槌駅前12:20着
※大槌駅前の「三陸屋台村おまつり横丁」で昼食休憩⇒大槌駅前13:20発⇒盛岡駅西口15:25着⇒県庁15:40着(予定)

問い合わせ先

いわて未来づくり機構

(事務局：岩手県復興防災部復興推進課)
〒020-8570 盛岡市内丸10-1
TEL：019-629-6945/FAX：019-629-6944
E-mail：AJ0001@pref.iwate.jp

申込締切

令和4年6月20日(月)

申込方法

下記のいずれかの方法でお申込みください。

E-mail で申込み

件名を「第1回いわて復興未来塾」として、下記の必要事項をご記入の上、申込みください。

- 氏名(ふりがな) ■職業・所属・団体名等
- 住所・電話番号・FAX ■メールアドレス
- 参加を希望する日にち
- バス利用有無(乗車場所)

E-mail

AJ0001@pref.iwate.jp

FAX又は郵送で申込み

下記の「参加申込書」に必要事項をご記入の上、申込みください。

※郵送の場合は締切日必着をお願いします。

FAX

019-629-6944

第1回いわて復興未来塾 参加申込書

※定員に達し次第、参加をご遠慮いただくことがあります。
※釜石情報交流センターに駐車場はありません(周辺の駐車場をご利用ください)。
※新型コロナウイルス感染状況等を踏まえ、内容の変更や県境をまたぐ往來の自粛をお願いする場合があります。

ふりがな
氏 名

〒 住 所

職業・所属
団体名等

Tel

Fax

Mail

- ・参加希望の方は、希望する日にちに○をつけてください。2日間とも参加の場合は両方に○をつけてください。
- ・無料往復シャトルバスの利用(乗車定員:各日30名)をご希望の方は、希望する日の<括弧>内の乗車場所に○をつけてください。

7月2日(土)

7月3日(日)

< 盛岡駅西口・県 庁 >

< 盛岡駅西口・県 庁 >

※ご記入いただいた個人情報は、個人情報保護法に基づき「いわて復興未来塾(今後の開催予定の告知を含む)」及び「新型コロナウイルス感染予防のための連絡(会場等の求めに応じて提供する場合を含む)」以外の用途には一切使用しません。

令和4年度

第2回

いわて復興未来塾



併催：東日本大震災津波伝承館開館3周年・震災語り部等ガイドサミット
いわて三陸復興フォーラム

～ 未来につなぐ 震災伝承～



参加無料

盛岡 発着
シャトルバス を運行
(定員30名)

令和4年 9月25日

お申込みはこちらの
QRコードから →

参加申込〆切
令和4年9月7日(水)



定員 40 名

震災遺構見学等エクスカーショ

10:30～12:00

10:30～11:30

高田松原津波復興祈念公園（旧道の駅タピック45、防潮堤）視察

【ガイド】高田松原津波復興祈念公園 パークガイド（一般社団法人陸前高田市観光物産協会）



11:30～12:00

東日本大震災津波伝承館 視察

【解 説】東日本大震災津波伝承館 解説員



旧道の駅タピック45

定員 100 名

伝承館開館3周年・震災語り部等ガイドサミット

13:30～16:00

会場：陸前高田市コミュニティホール シンガポールホール（陸前高田市高田町字栃ヶ沢210-3／0192-54-5520）



13:30～13:35

開会・知事挨拶

13:35～14:15

基調講演

「阪神・淡路大震災の語り部活動等について」

米山 正幸氏 【兵庫県】北淡震災記念公園 総支配人

会場の様子は、ニコニコ生放送の
岩手県公式インターネット番組
「いわて希望チャンネル」
で生配信します。



14:25～15:55

パネルディスカッション

「いのちを守り、海と大地と共に生きる～二度と東日本大震災津波の悲しみを繰り返さないために～」

聞き手：神谷 未生氏

パネリスト：岡本 翔馬氏

吉田 彰氏

藤間 千尋氏

渡邊 舞乃氏

コメンテーター：米山 正幸氏

【大槌町】一般社団法人おらが大槌夢広場 代表理事

【陸前高田市】認定特定非営利活動法人桜ライン311 代表理事

【陸前高田市】東日本大震災津波伝承館 解説員

【宮城県】公益社団法人3.11みらいサポート 理事

【福島県】東日本大震災・原子力災害伝承館 職員

【兵庫県】北淡震災記念公園 総支配人

15:55～16:00 総評・閉会

（左から）米山氏、神谷氏、岡本氏、吉田氏、藤間氏、渡邊氏



主催：いわて未来づくり機構 後援：陸前高田市

お問合せ：岩手県復興防災部復興推進課 TEL:019-629-6945 FAX:019-629-6944 E-mail:AJ0001@pref.iwate.jp

旧道の駅タピック45・防潮堤

※
(一社)陸前高田市観光物産協会から認定を受けた「高田松原津波復興祈念公園パークガイド」の案内により、震災遺構「旧道の駅タピック45」の施設内部や防潮堤（海を臨む場）等を視察します。 ※タピック45の施設内部は、パークガイドの同伴を条件として立ち入りが許可されるものです。

東日本大震災津波伝承館

解説員から説明を受けながら、東日本大震災津波伝承館の4つのゾーンによる常設展示等を視察します。

こめやま まさゆき

米山 正幸 氏（北淡震災記念公園 総支配人）兵庫県淡路島出身。平成7年の阪神・淡路大震災により実家の鉄工所が被災している状況の中、消防団員として、救助活動や救援物資の配布などに従事。平成12年から北淡震災記念公園に勤務。平成17年から語り部として県内外で精力的に活動。被災体験を基にした地震への備えや日頃からの地域のコミュニケーションの大切さ、命の尊さなど、阪神・淡路大震災の教訓と経験を次世代に継承している。

かみたに みお

聞き手：神谷 未生 氏（一般社団法人 おらが大槌夢広場 代表理事）愛知県名古屋市出身。東日本大震災津波直後から大槌町で物資配給の支援等に従事。その後、ロンドン大学大学院にて国際公衆衛生修士号取得。留学中も気掛かりだった大槌町に戻り、平成24年から「おらが大槌夢広場」に所属。「おしゃっち」を中心とした地域活性化の取組や語り部活動など、精力的に活動している。

おかもと しょうま

岡本 翔馬 氏（認定特定非営利活動法人 桜ライン311 代表理事）岩手県陸前高田市出身。東日本大震災津波直後から陸前高田市で避難所運営等を支援。平成23年5月に都内の勤務先を退職し、帰郷。震災津波の教訓を後世へ伝えるため、津波到達点に桜を植える活動を続けている。

よしだ あきら

吉田 彰 氏（東日本大震災津波伝承館 解説員）岩手県陸前高田市出身。東京で進学・就職するも、ふるさとの復興への貢献を志してUターン。東日本大震災津波伝承館の開館当初から解説員を務め、多くの来館者に東日本大震災津波の事実と教訓を伝えている。

ふじま ちひろ

藤間 千尋 氏（公益社団法人 3.11みらいサポート 理事）神奈川県横浜市出身。石巻での震災ボランティアを通じて、平成23年10月、横浜から石巻に移住。みやぎ東日本大震災津波伝承館の運営業務や津波伝承ARアプリ等を用いた伝承活動等に積極的に取り組んでいる。

わたなべ まい

渡邊 舞乃 氏（東日本大震災・原子力災害伝承館 職員）福島県南相馬市出身。小学校3年生の時に東日本大震災津波で被災。原発事故により山形県への避難と転校を経験。高校卒業後、東日本大震災・原子力災害伝承館に就職し、語り部として活動を続けている。



岩手県知事 達増 拓也

いわて復興未来塾とは

東日本大震災津波からの復興を力強く進めていくためには、復興を担う個人や団体など多様な主体が、復興について幅広く教え合い、学び合うとともに、相互に交流や連携をしながら、復興の推進に生かしていくことが求められます。

このため、岩手県内の産学官の連携組織「いわて未来づくり機構」では「未来づくり＝人づくり」との考え方のもと、「いわて復興未来塾」を開催しています。



盛岡発の無料往復シャトルバスのご案内（乗車定員：30人）

【往路】盛岡駅西口 7:45 発 ⇒ 県庁 8:00 発

⇒ 高田松原津波復興祈念公園 10:20 着

～ エクスカーション ～ 12:05 発

⇒ アバッセたかた 周辺 12:10 着

～ 昼食休憩（1時間）～ 13:10 発

⇒ 陸前高田市コミュニティホール 13:15 着

※ 座席数に限りがありますので、申込みはお早めをお願いします。
※ 無料シャトルバス利用者の駐車場はご用意しておりません。
※ 乗車前の検温、手指消毒、マスク着用にご協力ください。座席数を減らす等の感染防止を図り運行します。

【復路】陸前高田市コミュニティホール着 16:10 発

⇒ 盛岡駅西口 18:15 着 ⇒ 県庁 18:30 着（予定）

申込締切

令和4年9月7日（水）

問い合わせ

いわて未来づくり機構（事務局：岩手県復興防災部復興推進課）

〒020-8570 盛岡市内丸10-1 TEL：019-629-6945 E-mail：AJ0001@pref.iwate.jp

申込方法

下記のいずれかの方法で申込みください。

■ QRコードで申込み

リンク先から必要事項を入力して、申込みください。

お申込みはこちらから →



■ メールで申込み

お申込みはこちらへ → AJ0001@pref.iwate.jp

件名を「第2回いわて復興未来塾」として、下記の必要事項をご記入の上、申込みください。

- ①氏名（ふりがな） ②職業・所属・団体名等 ③住所・電話番号 ④メールアドレス
⑤参加希望プログラム（エクスカーション又はガイドサミット）
⑥交通手段／バス利用有無（乗降場所）・自家用車利用の別

■ 郵送での申込み ※締切日必着でお願いします。

下記の「参加申込書」に必要事項をご記入の上、申込みください。

- ※ 定員に達し次第、参加をご遠慮いただくことがあります。
※ 自家用車は、各会場付近に駐車可能です。詳細は参加申込後に別途お知らせします。
※ 新型コロナウイルス感染状況等を踏まえ、内容の変更や県境をまたぐ往來の自粛をお願いする場合があります。

第2回いわて復興未来塾 参加申込書

ふりがな
氏 名

職業・所属
団体名等

〒
住 所

電話番号

メール

■参加希望を○で囲んでください（両方の場合はこちらも○）

〔 震災遺構見学等 伝承館開館3周年・
エクスカーション 震災語り部等ガイドサミット 〕

■無料バス利用希望（乗降場所）又は自家用車利用を○で囲んでください

〔 バス盛岡駅西口・バス県庁・自家用車 〕

※ご記入いただいた個人情報は、個人情報保護法に基づき「いわて復興未来塾（今後の開催予定の告知を含む）」及び「新型コロナウイルス感染予防のための連絡（会場等の求めに応じて提供する場合を含む）」以外の用途には一切使用しません。

令和5年度第1回



いわて復興未来塾

新しい三陸の創造 ～人・モノ・コトの交流～

併催:いわて三陸復興フォーラム(沿岸報告会)・「いわての復興を自治の進化に」第10回シンポジウム

参加無料

盛岡 発着
シャトルバス を運行
(定員40名)



2023年7月9日

お申込みはこちらの
QRコードから →
参加申込〆切
6月26日(月)



定員 40名 午前の部:エクスカーション

10:00～11:00

田老の学ぶ防災ガイド

- 田老防潮堤、津波遺構「たろう観光ホテル」見学
- 津波映像の上映

※ 徒歩移動があります。動きやすい服装で御参加ください

【ガイド】元田 久美子氏

(一般社団法人宮古観光文化交流協会 学ぶ防災ガイド)



元田 久美子 氏



【津波遺構】たろう観光ホテル

田老の学ぶ
防災ガイド
詳細は
コチラ!



★シャトルバス利用者限定★

ランチは浄土ヶ浜で宮古名物「瓶ドン」をお楽しみいただきます! ※希望者のみ(ランチ料金は別途頂戴いたします)

定員 70名 午後の部:いわて復興未来塾

13:30～15:30

会場:宮古市地域創生センター(うみまちひろば) 4階多目的ホール

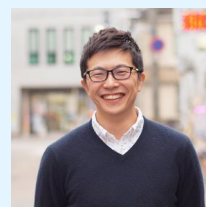
13:30 開会・知事挨拶

(宮古市神林3番1号(旧宮古警察署) TEL:0193-65-7133)

13:35 事例報告① 復興と地域を担う若い世代の未来を支える取組

早川 輝 氏

【NPO法人みやっこベース 理事長】

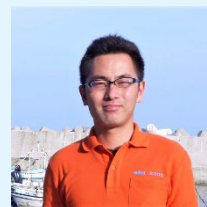


早川 輝 氏

14:10 事例報告② 地域の人・文化・魅力を活用した観光振興の取組

楠田 拓郎 氏

【NPO法人体験村・たのはたネットワーク 理事長】



楠田 拓郎 氏

14:45 事例報告③ 復興道路と空路を活用した県産品の販路開拓に向けた挑戦

佐々木 邦晃 氏 【日本航空(株) 鹿児島支店 副支店長】

※2023年3月まで:岩手県商工労働観光部産業経済交流課 セールスディレクター



佐々木 邦晃 氏

15:20 総評

15:30 閉会

会場の様子は、YouTubeチャンネル

岩手県公式動画チャンネル でライブ配信します!



田老防潮堤・津波遺構「たろう観光ホテル」

「学ぶ防災ガイド」の案内により、東日本大震災津波で甚大な被害のあった宮古市田老地区の現状や当時の状況を、防潮堤に上って視察します。また「たろう観光ホテル」において、このプログラムでしか視聴することのできない同ホテルに押し寄せる津波映像をご覧いただきます。※「たろう観光ホテル」の施設内部は、ガイドの同伴を条件として立ち入りが許可されるものです。

はやかわ あきら

早川 輝氏 (NPO法人みやこベース 理事長)

1987年生まれ、福岡県北九州市出身。九州工業大学卒業後、オーストラリアに2年間滞在し、2011年に帰国。同年6月から災害ボランティアとして宮古市で活動をスタート。2013年に「ユースみやこベース」を設立し、高校生が宮古の今とこれからを考えるサミットの開催、地元企業とのコラボ商品開発、フリースペース「みやこハウス」の開設などを実施。2015年から「NPO法人みやこベース」として、10年間に渡り「若者が活躍できるまち・宮古」をテーマに、地域の活性化に尽力。

みやこベース



くすだ たろう

楠田 拓郎氏 (NPO法人体験村・たのはたネットワーク 理事長)

東京都出身。大学を卒業し東京で勤務した後、2006年12月に田野畑村に移住。2017年6月から同NPOの理事長に就任。「体験村・たのはた 番屋エコツーリズム」という考え方のもと、サップ船アドベンチャーズ、みちのく潮風トレイルガイド、大津波語り部活動、漁師（ハンモッド）の塩作りなど、様々な自然体験プログラムを提供。

体験村・たのはたネットワーク



ささき くにあき

佐々木 邦晃氏 (日本航空(株)九州支社 鹿児島支店 副支店長)

※2020年4月から2023年3月まで、岩手県商工労働観光部産業経済交流課にセールスディレクターとして勤務。1996年に日本エアシステム（JAS）のグループ会社に入社。法人セールスや添乗員、社員教育部門でのファシリテーター、地域と連携したインバウンド誘致などを担当し、2020年に岩手県と日本航空（JAL）が行う人材交流の第一号として岩手県に着任。JALグループのJ-AIR協力のもと、大阪国際空港で実施している「ITAMI空の市」などと連携し、県内事業者や生産者と共に、復興道路と空路を活用した高鮮度の県産品の販路拡大に挑戦。



岩手県知事 達増 拓也

いわて復興未来塾とは

東日本大震災津波からの復興を力強く進めていくためには、復興を担う個人や団体など多様な主体が、復興について幅広く教え合い、学び合うとともに、相互に交流や連携をしながら、復興の推進に生かしていくことが求められます。

このため、岩手県内の産学官の連携組織「いわて未来づくり機構」では「未来づくり＝人づくり」との考え方のもと、「いわて復興未来塾」を開催しています。

盛岡発の無料往復シャトルバスのご案内（乗車定員：40人）

【往路】盛岡駅西口 7:45発 ⇒ 県庁 8:00発
⇒ 道の駅たろう 9:50着
～ エクスカーション ～ 11:25発
⇒ 浄土ヶ浜レストハウス 11:50着
～ 昼食休憩（1時間）～ 12:55発
⇒ うみマチひろば 13:10着

※ 座席数に限りがありますので、申込みはお早めをお願いします。
※ 乗車中のマスク着用は、参加者個人の判断で着脱願います。
※ シャトルバス利用者の駐車場はご用意しておりません。
※ ランチ料金は、当日バス乗車時に現金にて頂戴いたします。

【復路】うみマチひろば 15:40発
⇒ 県庁 17:20着 ⇒ 盛岡駅西口 17:35着（予定）

申込締切

2023年6月26日(月)

問い合わせ

いわて未来づくり機構（事務局：岩手県復興防災部復興推進課）

〒020-8570 盛岡市内丸10-1 TEL：019-629-6945 E-mail：AJ0001@pref.iwate.jp

申込方法

いずれかの方法で申込みください

①QRコードで申込み

リンク先の専用フォームから必要事項を入力の上、お申込みください。

お申込みはこちらから →



②メールで申込み

お申込み先：AJ0001@pref.iwate.jp

件名を「第1回いわて復興未来塾」として、下記の必要事項をご記入の上、お申込ください。

- ①氏名（ふりがな） ②職業・所属・団体名等 ③住所 ④電話番号 ⑤メールアドレス
⑥参加希望プログラム（全て・午前のみ・午後のみ） ※いずれかを選択
⑦交通手段（シャトルバス盛岡駅西口乗車・シャトルバス県庁乗車・自家用車利用） ※いずれかを選択
⑧昼食メニュー（宮古産トラウトサーモンの瓶ドン 1,500円・煮干し中華そばとミカレセット 1,000円・不要）
※いずれかを選択（シャトルバス利用者のみ）

③郵送での申込み

※6月26日必着でお願いします。

※ 定員に達し次第、参加をご遠慮いただくことがあります。

下記の「参加申込書」に必要事項をご記入の上、お申込みください。 ※ 自家用車は、各会場付近に駐車可能です。詳細は参加申込後に別途お知らせします。

第1回いわて復興未来塾 参加申込書

ふりがな
氏 名職業・所属
団体名等〒
住 所

電話番号（携帯番号推奨）

メール

■参加希望プログラムを○で囲んでください

〔 全て・午前のみ・午後のみ 〕

■シャトルバス利用希望（乗降場所）又は自家用車利用を○で囲んでください

〔 シャトルバス盛岡駅西口・シャトルバス県庁・自家用車 〕

■希望するランチメニューを○で囲んでください ※シャトルバス利用者のみ

〔 宮古産トラウトサーモンの瓶ドン 1,500円・煮干し中華そばとミカレセット 1,000円・不要 〕

※ご記入いただいた個人情報は、個人情報保護法に基づき「いわて復興未来塾（今後の開催予定の告知を含む）」以外の用途には一切使用しません。

申込締切 ●9/8実施分→2024年8月22日(木)必着 ●9/21実施分→2024年9月6日(金)必着

申込み方法 申込フォームの他、メール・郵送もご利用いただけます。

申込フォーム		メール	郵送
【9/8申込】	【9/21申込】	左記QRコードより申込フォームへアクセスの上、必要事項を記入しお申込みください。	お申込み先メールアドレス riasu-shizukuishi@river.ocn.ne.jp 件名を「いわて復興未来塾」として、次の必要事項をご記入の上、お申込みください。
			〒020-0543 岩手県岩手郡雫石町高前田52-2 リアス観光株式会社雫石営業所 宛 下記「参加申込書」に必要事項を記入の上、ご郵送ください。
必要事項 ①氏名・ふりがな ②職業・所属・団体名等 ③郵便番号・住所 ④電話番号(携帯電話推奨) ⑤メールアドレス ⑥参加希望内容			

参加申込書 令和6年度いわて復興未来塾エクスカッション&フォーラム

① 氏名	ふりがな		② 職業・所属 ・団体等	
③ 住所	〒			
④ 電話番号 (携帯電話推奨)	-		⑤ メールアドレス	
⑥参加希望内容 いずれかにレをしてください。				移動手段
希望するコース				
☐ 9月8日(日) エクスカッション 田野畑村 & 山田町 ツアー代金(昼食代)2,200円 ※シャトルバス・体験費用無料	Aコース 中級 アドベンチャートレッキング	Bコース 初級 弁天崎灯台トレッキング	Cコース 初級 北山崎展望台ガイド	☐ シャトルバス盛岡駅西口 ☐ シャトルバス岩手県庁 ☐ 自家用車(現地集合)
	希望するコース名をお書きください 第一希望 第二希望			
☐ 9月21日(土) 陸前高田市	☐ エクスカッション&フォーラム ツアー代金(昼食代)2,200円 ※シャトルバス・体験費用無料			☐ シャトルバス盛岡駅西口 ☐ シャトルバス岩手県庁 ☐ 自家用車(現地集合)
	☐ エクスカッションのみ ※現地集合		☐ 昼食付(2,200円) ☐ 昼食なし:無料	
	☐ フォーラムのみ ※現地集合		昼食なし:無料	

※お申し込み時の個人情報、記載の旅行条件及び旅行手配、岩手県復興防災部復興推進課からの「いわて復興未来塾」に係る御連絡以外には利用いたしません。
※フォーラムのみお申込みのお客様には、岩手県復興防災部復興推進課よりご連絡させていただくため、お申し込み時の情報を共有いたします。

【内容の変更・催行の中止について】

いずれの行程も少しの雨であれば予定通り実施します。トレッキングや散策等に影響がある場合や台風並みの強風荒天の場合は、内容の変更や催行を中止します(順延はいたしません)。催行中止となった場合、昼食代を事前決済されたお客様には返金いたします。返金については別途、ご案内いたします。

【その他】

- ▶旅行保険に加入します。ただし、次の内容は対象外となります。予めご了承ください。
・自家用車で参加の方の自家用車移動の部分 ・フォーラムのみに参加の方 ・その他、保険会社が対象外と認めた内容
- ▶申し込みにあたり、シャトルバス、エクスカッションメニューにより定員があるものは**原則、先着順で受け付け、定員に達し次第、締め切ります。**

■最少催行人員1名 ■添乗員同行 ■当社では申込フォーム・メール・郵送による旅行契約の予約を受付けます。**当社が予約を承諾する旨の通知後、旅行代金を納入して頂きます。**当社が入金確認を以て旅行契約の成立と致します。■申込金:旅行代金全額 ■詳しい旅行条件を説明した書面をお渡し致しますので事前にご確認の上お申込み下さい。■旅行前に、集合場所や当日の詳しいスケジュール、持ち物・服装等詳細をご案内します。■旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取扱う営業所での取引の責任者です。この旅行契約に関し、担当者からの説明にご不明な点がございましたらご遠慮なくご質問下さい。■本チラシは令和6年7月5日を基準としております。■掲載の写真は全てイメージです。■取消料は設定いたしません。

申し込み先 ●旅行企画・実施/お申し込み・お問い合わせ

リアス観光株式会社雫石営業所

(一社)全国旅行業協会正会員 岩手県知事登録旅行業第2-98号
雫石(営)/雫石町高前田 52-2 総合旅行業務取扱管理者 大久保誠

〒020-0543 岩手県岩手郡雫石町高前田52-2 TEL.019-601-7735

【営業日・営業時間】平日9:00~17:30

【お問合せメールフォーム】<https://www.rias-kanko.jp/> 24時間受付



令和6年度

ツアー代金
(昼食代)
2,200円(税込)
※盛岡発着シャトルバス
・体験費用は無料
フォーラム(9/21午後)のみ
ご参加の方は無料

参加者
募集!

いわて復興未来塾

エクスカッション&フォーラム

併催:いわて三陸復興フォーラム(沿岸報告会)

IWATE
EXCURSION
2024

三陸地域の復興を学び、考え、魅力を体感する日帰りエクスカッション&フォーラム。
東日本大震災津波からの復興状況を学び、
「三陸ジオパーク」「みちのく潮風トレイル」を始めとする世界有数の三陸地域の魅力を体感するエクスカッションと、
震災伝承と復興ツーリズム・交流の融合による三陸地域の創造について考える「フォーラム」を開催します。

2024
9/8
日曜日

いわて復興未来塾
エクスカッション
in 田野畑村 & 山田町

定員60名(盛岡発着シャトルバス40名)

【主な内容】

●田野畑村 「ガイドと歩く“みちのく潮風トレイルガイドウォーク”」

●山田町 「震災ガイド&まち歩き」

申込締切
8/22(木)



2024
9/21
土曜日

いわて復興未来塾
エクスカッション&フォーラム
in 陸前高田市

定員60名(盛岡発着シャトルバス40名)

【主な内容】

●陸前高田市 「高田松原津波復興祈念公園パークガイド」

「フォーラム」

申込締切
9/6(金)

【主催】いわて未来づくり機構(事務局:岩手県復興防災部復興推進課)
【旅行企画・実施・運行バス会社】
リアス観光株式会社雫石営業所
(一社)全国旅行業協会正会員 岩手県知事登録旅行業第2-98号
雫石(営)/雫石町高前田 52-2 総合旅行業務取扱管理者 大久保誠

お申し込み方法

申込フォームの他、メール・郵送も
ご利用いただけます。
詳しくはHPをご覧ください。



いわて復興未来塾とは

東日本大震災津波からの復興を力強く進めていくためには、復興を担う個人や団体など多様な主体が、復興について幅広く教え合い、学び合うとともに、相互に交流や連携をしながら、復興の推進に生かしていくことが求められます。

このため、岩手県内の産学官の連携組織「いわて未来づくり機構」では、「未来づくり=人づくり」との考えのもと、「いわて復興未来塾」を開催しています。

岩手県知事 達増 拓也



2024
9/8
日曜日

第1回いわて復興未来塾 エクスカーション in 田野畑村 & 山田町

募集人員…60名

盛岡発着
シャトルバス…40名

■添乗員：盛岡駅より同行 ■食事：昼1

出発・集合

- ▶盛岡発着のシャトルバス乗車の方…盛岡駅西口 マリオス1階8:00→岩手県庁8:15
- ▶田野畑村現地集合の方 ……………北山崎駐車場10:30

行程

盛岡駅西口 マリオス1階8:00発＝岩手県庁8:15発＝田野畑村北山崎駐車場10:30集合＝**みちのく潮風トレイルガイドウォーク**(約1時間)＝**ホテル羅賀荘**(昼食。三陸の魅力が詰まった本エクスカーション特製メニュー)＝昼食後、三陸沿岸道路を南下し山田町へ(バス・各車両にて)＝道の駅やまだおいすた着14:15頃＝マイカー参加者は現地移動用バスに乗り換え＝**震災ガイド&まち歩き**14:30(約1時間)＝**道の駅やまだおいすた**(お買い物)＝解散(現地参集者はこちらで解散となります。)＝シャトルバス発16:30＝岩手県庁18:30頃＝盛岡駅西口 マリオス1階18:45頃

エクスカーション①

みちのく潮風トレイルガイドウォーク【田野畑村】

※定員：各コース20名

海の景観をダイナミックに感じることができる「みちのく潮風トレイル」コース内を地元ガイドとトレッキング！三陸ジオパーク内でもあり、風景美も楽しめます。トレッキング中級者向けからあまり歩きなれていない方にお勧めな初級コースと、3コースをご用意。

Aコース

中級

アドベンチャートレッキング



北山崎の断崖の迫力を感じられる断崖直下の浜辺を歩くコース。地元の人しか知らない浜辺と浜辺をつなぐ手掘りのトンネルも通るアドベンチャー感満載のコースです。

Bコース

初級

弁天崎灯台トレッキング



海に突き出た弁天崎の上に立つ灯台を目指すコースです。コースは短めですが本格的なトレッキングが楽しめ、灯台からは海を見下ろす絶景が楽しめます。

Cコース

初級

北山崎展望台ガイド



北山崎のメイン展望台である第一展望台や、良く写真撮影に使われる第二展望台、その周辺を歩くコース。歩いた後はビジターセンターで四季の映像をご覧ください。

エクスカーション②

震災ガイド&まち歩き【山田町】

復興が進む山田町の中心地、山田駅前周辺や新生やまだ商店街、慰霊碑等が設置されている御蔵山などを中心に、語り部ガイドが町内を案内。語り部自身の震災の経験、新しいまちづくり・商店街の再生等の話を聞きながら、防災・まちづくりについて学ぶまち歩きツアー。

●ガイド案内先

陸中山田駅方面～国道45号線～御蔵山(東日本大震災津波慰霊碑等)



★震災ガイド&まち歩きの後、山田湾展望広場に立ち寄ります。

2024
9/21
土曜日

第2回いわて復興未来塾 エクスカーション&フォーラム in 陸前高田市

■募集人員60名※盛岡発着シャトルバスを運行(定員40名)■添乗員：盛岡駅より同行
■食事：昼1

本行程は午前中にエクスカーション、午後はフォーラムに参加いただきます。なお、フォーラムのみのご参加も受付いたします。

出発・集合

- ▶盛岡発着のシャトルバス乗車の方…盛岡駅西口 マリオス1階7:30→岩手県庁7:45
- ▶陸前高田市現地集合の方 ……………東日本大震災津波伝承館前10:00

行程

盛岡駅西口 マリオス1階7:30発＝岩手県庁7:45発＝東日本大震災津波伝承館前10:00集合＝**パークガイド**(約90分)＝**食彩工房海浜館**(昼食。地元で愛されるお店で自慢の海鮮メニューお楽しみください)＝昼食後、市内を移動しフォーラム会場へ(バス・各車両にて)＝陸前高田市コミュニティホール13:10着＝**フォーラム参加**(13:30～15:30)＝解散(現地参集者はこちらで解散となります。)＝シャトルバス発15:45＝岩手県庁18:00頃＝盛岡駅西口 マリオス1階18:15頃

エクスカーション(午前)

募集人員…60名

高田松原津波復興祈念公園

パークガイド【陸前高田市】

東日本大震災の教訓と陸前高田市の魅力を伝えるため2021年夏に始まったサービスです。陸前高田市観光物産協会から認定を受けた“個性豊かな”地元住民がガイドとなり、高田松原津波復興祈念公園内を案内します。

●視察する震災遺構等

旧道の駅高田松原タピック45、海を望む場・防潮堤、奇跡の一本松、陸前高田ユースホテル



フォーラム(午後)

募集人員…100名

持続可能な三陸地域の創造

～震災伝承×復興ツーリズム×交流～

会場：陸前高田市コミュニティホール シンガポールホール

[13:00]開場

[13:30]開会・知事挨拶

[13:35]基調講演・事例報告

[15:25]知事コメント

[15:30]閉会

フォーラムは
YouTube岩手県
公式動画チャンネルで
ライブ配信します。



基調講演

復興ツーリズム・
交流と震災伝承の可能性について



宮城学院女子大学
現代ビジネス学部 教授
宮原 育子氏

旅行会社勤務、宮城大学教授を経て、平成28年から現職。地理学、観光学を専門とし、日本ジオパーク委員会・副委員長や宮城県「東日本大震災の記憶・教訓伝承のあり方検討有識者会議」委員等、多数の要職を務める。観光の復興に携わり、被災地における交流人口拡大や持続可能な観光振興、復興ツーリズム等について研究。

事例報告①

震災伝承施設と観光コンテンツの
融合による交流創出について



一般財団法人3.11
伝承ロード推進機構
業務執行理事
原田 吉信氏

元国土交通省職員。東日本大震災津波では被災自治体の民生支援を担当し、震災伝承施設の登録制度導入にも携わる。令和4年7月から現職。震災伝承施設等の情報発信に取り組むとともに、現在、震災伝承施設のネットワーク化や、三陸沿岸道路を活用した観光コンテンツと震災伝承施設の融合による付加価値創出に挑戦中。

事例報告②

陸前高田市の地域資源を活用した
交流人口拡大の取組



ワタミオーガニックランド株式会社
農場責任者
鈴木 空慈氏

神奈川県出身。高校生の修学旅行で陸前高田市に初めて出会う。高校卒業後、陸前高田の魅力が忘れられず、単身で移住しワタミオーガニックランド(株)設立の農業事業に参画。令和3年の開設以後はソーラーシェアリングを活用したブドウ栽培を実施する傍ら、観光農園の運営や、陸前高田市内の漁業・林業資源やエネルギー、防災の取組を組み合わせた教育旅行・企業研修向けの体験型SDGsツアーの現地オペレーターとして活躍。